

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009神第49号	
事故等名	貨物船第八晃山丸乗揚	
発生年月日時刻	平成21年1月14日07時20分ごろ	
発生場所	兵庫県相生港 IHIアムテック岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年2月5日神戸・地方事故調査官が海難報告書を入手し、2月19日船長から損傷状況を口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	貨物船 第八晃山丸 199トン	
船舶番号	135313	
船舶所有者等	晃山汽船有限会社	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	船底にペイント剥離	
事故等の経過	本船は、鋼材629トンを積載し、船首2.5m、船尾3.7mの喫水で兵庫県相生港に到着して揚荷岸壁へ接近し、水深が浅いときに支障のある岸壁突起物を避けながら前進中、平成21年1月14日07時20分ごろ、船底に衝撃を受けた。 当時の天候は晴れ、1.4m/sの北風、潮候は低潮時であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、低潮時で水深が浅い港内での操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、低潮時で水深が浅い港内での操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	